



学校だより

令和6年度第9号

函南町立西小学校



西小 HP QRコード

学校教育目標 いきいき 西っ子 ～重点目標 わかったできたを実感し、次につなげよう～

自主性と主体性

校長 久保田正基

本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。今年は「巳年」です。先日の朝会で、子供たちに、「へびは脱皮を繰り返して大きくなっていくことから、古い皮を脱ぎ捨てて、新しい自分を目指しましょう」という話をしました。

「自主性」＝「主体性」ではない。「主体性」をもて。

これは、以前勤務していた中学校で行われた「卒業生に話を聞く会」で、ある高校生が言ったセリフです。主体性とは、自分自身で考えて物事に取り組むことです。自主性とは、何をやるべきか理解している状態で、指示を受ける前に仕事（やるべきこと）に取り組めることです。どちらも自分の判断を軸にしてやるべきことに取り組む点は共通していますが、決定的な違いは、やるべきことを決定する人の違いです。何をやる必要があるのか自分で決める主体性に対し、自主性は他者が決めたことを率先して実行することを指します。例えば、部屋が散らかっていることに気づき「とくに言われてはいないが、汚いから片付ける必要がある」と自分で判断し、掃除をするのは、主体性がある行動。誰かに部屋をきれいにするように言われて、率先して掃除をするのは自主性がある行動。このようなことではないかと考えています。西小の子供たちは、任された仕事に一生懸命取り組む、やるべきことや行事に向かって頑張ることができる、しかし、自己決定が苦手な他者に頼る傾向が強い、両面が見られます。小学生なので、まず言われたことができるようになることも大切です。でも、学年が進むにつれて、いわゆる指示待ちではなく、自分で判断し行動するようになってほしいものです。

現在、西小では、12月にいただいた児童・保護者・教員アンケートをもとに、来年度の教育課程（学校の教育計画）を編成しています。主体性を高めることは、本校の児童の課題と捉えています。自分で考える機会を意図的に作り、自分で考えるトレーニングを進めたいと考えています。アウトプットの間を設けると意識レベルは飛躍的に高くなるので、考えを伝える場を設けます。実際の活動もできるだけ子供たちの手で運営できるように支援していきます。今までも、決してやっていなかった訳ではありませんが、より一層成果がはっきり見えてくるように教職員一同全力で取り組んでいきますので、本年も学校教育へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。